

荒川でちょっといいこと ゴミ拾い  
SINCE 1994  
**荒川 Clean Aid News**  
あらかわクリーンエイドニュース

vol. 66  
2011秋号

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム <http://www.cleanaid.jp/>



はじまります！  
荒川クリーンエイド2011 秋

**マイボトルde、ゴミ拾い。**  
(関連記事P3)

今年のクリーンエイドはマイボトルを持って参加しよう！



## Contents

- P2 はじまります！秋のクリーンエイド  
荒川クリーンエイド2011説明会 &  
マイボトル10,000人チャレンジ・キックオフミーティングのご案内
- P3 荒川発！ゴミの発生抑制  
マイボトルde、ゴミ拾い。目指せ 10,000人！  
【コラム】世界のゴミ問題の解決に活かされる荒川のゴミのデータ  
春のクリーンエイド速報
- P4.5 クリーンエイドを取り巻く活動の動き  
新入社員研修/生物多様性の保全 2つのプロジェクト  
/「荒川エコキッズ育成」事業
- P6.7 各種活動レポート  
講演「河川管理に携わるNPOは何を目指すべきか」  
/身近な水環境の全国一斉調査/24時間テレビ  
/荒川クリーンエイドの現場から/学校教育の現場から  
【コラム】荒川いきもの四方山話 ~草原の住人たち~
- P8 お知らせ  
荒川源流エコツアー/会員募集中 ほか

実施団体  
まだまだ募集中!

## はじまります! 秋のクリーンエイド 80会場、開催決定!

10~11月を中心に、荒川河川敷の80会場でクリーンエイドの実施が予定されています(7月31日現在)。次から次へと流れ来るゴミ。まずは溜まったゴミを、海へと流れてしまう前に大勢の力で取り除いていきましょう。そして、「数えるゴミ拾い」を通してゴミの多さを実感して、荒川のゴミが減ることを考え、実行しましょう!

実施団体リーダの方はぜひご参加ください!

【参加申込】 午前のみ・午後のみ参加も歓迎します。FAXまたはE-mailでお申込みください。  
FAX 03-3654-7256  
E-mail renraku@cleanaid.jp

最新クリーンエイド会場情報は  
<http://www.cleanaid.jp/information>



マイボトルde、ゴミ拾い。

## 荒川クリーンエイド2011説明会

& マイボトル10,000人チャレンジ・キックオフミーティング

### 9月10日(土)

2011年、ゴミの発生抑制を目指すゴミ拾いとして、『マイボトル持参10,000人』にチャレンジします。ベテランのキャプテンの方もふるってご参加ください。

参加者に  
SIGGボトル  
プレゼント!



体験会 10:00~12:00

集合: 荒川河川敷・千住新橋下(北千住側)

内容: クリーンエイド実施の流れを体験

説明会&キックオフミーティング 13:00~15:00

集合: 足立区生涯学習センター(学びピア21内)研修室3

内容: クリーンエイドの実施方法・今年の変更点・安全管理、「マイボトルde、ゴミ拾い。」キャンペーンの開始宣言と実施方法

講演会 15:00~16:00

鬼頭秀一先生(東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)をお招きし、ご講演いただきます。

テーマ: 人工河川における自然再生の考え方と生物多様性  
~都市河川荒川での市民活動は何を目指すべきか~

### 秋のクリーンエイド会場( 一般参加者を募集している会場)

(2011年7月31日現在)

地域	実施団体名	実施日
秩父熊谷鴻巣	1 NPO秩父の環境を考える会	10月16日(日)
	2 秩父子どもエコクラブ(秩父教育懇話会)	9月11日(日)
	3 NPO熊谷の環境を考える連絡協議会	11月13日(日)
	4-6 鴻巣の環境を考える会	11月23日(祝)
	7 NPO荒川流域ネットワーク	11月5日(土)
	8 NPO荒川の自然を守る会	10月2日(日)
	9-10 NTT東日本埼玉グループ	11月13日(日)
	市野川大矢川梶川	11 ふれあい市野川クリーンアップ作戦協議会
12 市野川水系の会イン滑川町		11月23日(祝)
13-15 大谷川クリーン大作戦実行委員会		10月16日(日)
16 黒目川に親しむ会		10月16日(日)
17 黒目川クリーンエイド実行委員会		10月23日(日)
戸田川口	18 (財)埼玉県生態系保護協会 戸田・蕨支部、戸田市河川課、荒川夢クラブ	9月24日(土)
	19 川口市建設部建設管理課	11月6日(日)
	20 (財)埼玉県生態系保護協会 川口支部	10月22日(土)
	21 ㈱ファミリーマート	10月22日(土)
板橋北	22 板橋グローブクラブ	11月12日(土)
	23 いたばし野鳥クラブ、板橋水辺を楽しむ会、センスオブアース、板橋区みどり公園課	10月30日(日)
	24 都立桐ヶ丘高等学校	11月1日(火)
	25 北区水辺クラブ	10月8日(土)
	26 北区水辺の会	10月15日(土)
	27 北区	10月16日(日)
	28 ボーイスカウト東京連盟 城北地区 北第11団	9月18日(日)
足立	29 ㈱トンボ鉛筆	10月15日(土)
	30 尾久の原愛好会	10月23日(日)
	31 荒川区教育委員会社会体育課	11月6日(日)
	32 日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)	9月22日(木)
	33 荒川区教育委員会社会体育課	11月6日(日)
	34 台東区教育委員会青少年スポーツ課	10月23日(日)
	35 ㈱日立ビルシステム	10月8日(土)
	36 NPO荒川クリーンエイド・フォーラム	9月10日(土)
	37 三井住友海上プライマリー生命保険(株)	10月29日(土)

地域	実施団体名	実施日
足立	38 足立成和信用金庫	9月3日(土)
	39 足立区、足立区荒川ビジターセンター	10月23日(日)
隅田川	40 東京白鷗・城北・西新井・足立中央ライオンズクラブ	10月23日(日)
	41 あらかわエコフレンド	10月23日(日)
葛飾墨田	42 隅田川市民交流実行委員会	10月15日(土)
	43-44 荒川を考える葛飾区民会議・葛飾区	10月15日(土)
	45 一般社団法人東京損害保険代理業協会	10月15日(土)
	46 ㈱エクスマン	11月12日(土)
	47 墨田区、ライオン(株)	10月29日(土)
	48 一般社団法人建築ビジョン	10月29日(土)
	49 SMBC日興証券(株)	10月29日(土)
	50 松山油脂(株)	10月15日(土)
	51 ローソングループ	11月6日(日)
	52 江戸川区立平井小学校	10月14日(金)
	53 下平井水辺の楽校、NPO荒川クリーンエイド・フォーラム	10月16日(日)
	54 小松川平井連合町会	11月13日(日)
	55 ふるさと清掃運動会実行委員会、NPO荒川クリーンエイド・フォーラム	10月30日(日)
江戸川江東	56 江戸川区立小松川小学校	9月13日(火)
	57 江戸川・生活者ネットワーク、ガールスカウト215団、三井ボランティアネットワーク事業団	10月23日(日)
	58 ジョンソンコントロールズ(株)	10月22日(土)
	59 島村運輸倉庫(株)	11月12日(土)
	60 日本アイ・ビー・エム(株)	12月3日(土)
	61 住友生命保険相互会社	11月5日(土)
	62 シティグループ	10月22日(土)
	63 江戸川区立大杉小学校	10月13日(木)
	64 中土手に自然を戻す市民の会	11月20日(日)
	65 江戸川区土木部計画課、NPOえどがわエコセンター、いきごみクラブ	11月5日(土)
66 都漁連内湾釣漁協議会、NPOえどがわエコセンター、葛西東渚・鳥類園友の会	11月8日(火)	
67-69 西なぎさ発:東京里海エイド	9/17(土)、10/15(土)、11/12(土)	
70 江東区土木部水辺と緑の課	11月12日(土)	
71 佐川急便(株)	10月1日(土)	

その他の予定会場 ダイエーグループ、みずほ証券(株)、リコーテクノシステムズ(株)、すみだエコクラブ、江戸川区立平井東小学校、新生銀行グループ、㈱りそな銀行、未公開希望2 (計9会場)

## 荒川発！ゴミの発生抑制

マイボトルde、ゴミ拾い。目指せ 10,000人！

近年ペットボトルの増加傾向が明らかになっています。2010年9月から12月までの間、荒川でゴミ拾いを行うとともにペットボトルゴミの実態について調査しました。調査結果によると、**荒川ゴミの2割はペットボトルのゴミ、そのうち50%強が、家の水道水等を用いて持参できる水・お茶**、ということがわかりました。

マイボトルde、でゴミ拾いへ

私たちは、荒川クリーンエイド現場への「マイボトル」の持参を推進します。**水やお茶については、自宅マイボトルに入れて用意することができるため、荒川クリーンエイドの参加者にひとりひとりができることを進めていただけるようご協力をお願いし、荒川での運動から社会に提案できる大きな情報発信につなげていくことを目指します。**

参加者に実践いただきたい三つのアクション

参加者個人にお願いしたい三つのアクションです。キャプテンの皆様は、まずAction1について事前に参加者へお伝えください。

**Action 1(事前) マイボトルを“持参して参加”**  
マイボトルを持って荒川の河川敷にいらしてください。水・お茶の持参をお勧めします。是非ご協力ください。

**Action 2(当日) 数えながら“ゴミを拾う”**  
荒川の河川敷で、ゴミの数を数え、ペットボトルの多さを体感してください。そして、「私たちにできること」をみんなで考えましょう。

**Action 3(事後) 日頃からマイボトルを“意識する”**  
マイボトルを持ってクリーンエイドに参加することで、日頃からマイボトルを持ち、環境に配慮したライフスタイルを考えるきっかけになります。

## 世界のゴミ問題の解決に活かされる 荒川のゴミのデータ

1. 荒川クリーンエイドで行っている数えるゴミ拾いは、国際的な海ゴミ調査ICC（国際海岸クリーンアップキャンペーン）がベースになっています。
2. 荒川クリーンエイドのゴミのデータは、一般社団法人JEAN、さらにはアメリカの環境NGO「オーシャン・コンサーバンシー」に送られ、国内、そして国際的な海洋ゴミ問題の解決のために役立てられています。
3. 大きな成果としては、2009年に「海岸漂着物処理推進法」（略称）が制定され、政府や自治体もその対策に乗り出すこと

となりました。

4. 海ゴミの約7割は川からの流入と言われており、都市住民は海ゴミ問題に大きな責任があると言えます。

国際海岸クリーンアップキャンペーン（ICC）

ICCは、ひとつの海でつながっている海のゴミ問題解決のため、国際環境保護活動としてオーシャン・コンサーバンシーの呼びかけに応じて1990年に日本でもスタートした海岸漂着ゴミ調査を伴った活動。

## 春のクリーンエイド 速報

### 30会場で1,190袋のゴミを回収

震災後の自粛ムードでキャンセルや延期の会場もありましたが、7月20日までに30会場でクリーンエイドが実施されました。中には新入社員研修の一環として実施された会場もありました。夏休みには、子どもたちのボランティア体験に合わせたクリーンエイドも予定されています。

#### 春のクリーンエイド 概要（7/20現在）

期間	2011年1～8月
実施会場数	30会場
参加者数	3,143人（うち子ども1,296人）
散乱ゴミ袋数	1,190袋（45リットルのゴミ袋）
粗大ゴミ数	443個
清掃距離	延べ約9.3km

#### 春のクリーンエイド 実施速報

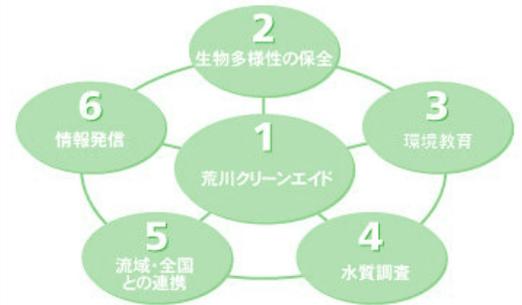
(2011年7月20日現在)

地域	実施日	実施団体	参加人数	地域	実施日	実施団体	参加人数	地域	実施日	実施団体	参加人数
埼玉	1 4/24	荒川夢クラブ	11	葛飾	12 4/16	あらかわミズガキ隊	184	江戸川	23 5/1	島村運輸倉庫(株)	142
	2 4/23	かわくちっ子荒川クラブ	雨天中止		13 4/20	(株)新生銀行	23		24 5/29	「24時間テレビ」チャリティ委員会、NPO荒川クリーンエイド・フォーラム	127
	3 4/17	いたばし野鳥クラブ	32		14 5/14	(株)エックスワン	68		25 7/5	江戸川区立大杉小学校	102
	4 5/22	北区水辺の会	190		15 4/21	ブルームバーグL.P.	16		26 6/25	NPOえどがわエコセンター 自然共生社会づくり委員会	58
板橋北	5 6/22	豊島区立南池袋小学校	103	江戸川	16 5/21	東海東京アカデミー(株)	78	江東	27 4/16	西なぎさ発:東京里海エイド	9
	6 5/14	日本工営(株)	41		17 6/18	日本アイ・ビー・エム(株)	35		28 5/21	西なぎさ発:東京里海エイド	22
	7 4/23	NPO荒川クリーンエイド・フォーラム	10		18 6/4	小松川信用金庫	109		29 6/18	西なぎさ発:東京里海エイド	26
足立	8 6/26	ボーイスカウト東京連盟城北地区北11団	47	江戸川	19 2/22	江戸川区立平井東小学校	45	江東	30 7/16	西なぎさ発:東京里海エイド	22
	9 6/5	尾久の原愛好会	7		20 4/9	下平井水辺の楽校	6		31 5/21	江東エコリーダーの会	22
	10 4/24	(株)ガリバーインターナショナル	99		21 6/5	下平井水辺の楽校	41				
	11 6/24	足立学園中学校	468		22 5/15	小松川平井連合町会	1000				

## クリーンエイドを取り巻く活動の動き

荒川クリーンエイド・フォーラムでは、『荒川クリーンエイド』を中心に6つの活動を通して河川環境の保全に総合的に取り組んでいます。ここでは、クリーンエイドを取り巻く5つの活動のうち『環境教育』と『生物多様性の保全』の今年度の取り組みをご紹介します。

### 荒川クリーンエイド・フォーラム 6つの活動



### 3 環境教育・社員研修

## 企業の新入社員研修に荒川クリーンエイドを活用

荒川クリーンエイド・フォーラムでは、様々なセクター・世代の人々が、荒川下流域においてゴミ問題や生物多様性、水辺の安全等に関する学びを得られるよう、河川を活用した環境教育、“人づくり”に多面的に取り組んでいます。従前は、次世代を担う子どもへの環境教育を、自然環境への理解を深めるということを主目的に実施してきましたが、2008年を契機に成人への環境教育を重要視することを心がけてきました。

今春は、3月11日(金)に発生した東日本大震災の影響もあり、予定していた研修の幾つかは中止になりました。このような状況下で、私たちと一緒に荒川クリーンエイドを活用した研修を実施した企業をご紹介します。



中古車の買取・販売業を行う株式会社ガリバーインターナショナルさんです。地震の影響を顧みず、「3月11日発災後は、逆にこのような状況だからこそ、周囲が不安に思っている状況だからこそ、何も懸念がなかったかのように(当初の研修計画を)進めさせたかったのです」と、HRチーム[人事部門]の荒木様は言います。お陰さまで研修当日は、昼過ぎから夕方にかけて比較的長い時間枠を確保することができました。研修から数カ月経過した今当時のお話を伺いました。

### インタビュー抜粋

プログラムの最後に実施したワークショップの印象はいかがですか？

ゴミを拾うだけであると、事が起こってから行動するという対症療法的なものではありません。

対症療法でなく問題の根本を解決するという視点で考えなくてはなりません。当日のワークショップでは社会全般におけるゴミ問題の根本的な解決策について社員個人ができることを考えるきっかけが持てました。活動だけでなくワークショップの両方があることで良い相乗効果を生み出したと思います。

また、何のためにゴミ拾いをするかといった荒川クリーンエイドの目的を開会式ではなく、ワークショップ後の講評にてはじめて伝えていただいたシナリオは非常に良かったと思います。社員がよく理解できたと実感しました。

本研修を通じて、社員の皆様にどのような効果(影響・成果)があったと感じられますか？

会社としてボランティアに関する情報は常に発信しておりますが、自主的にはなかなか実行に移せないのが実情です。

今回荒川クリーンエイドを経験した新入社員はこうした活動の意義を理解できたと思いますので、今後会社で推奨するボランティアに率先して参加するでしょう。



株式会社  
ガリバーインターナショナル  
HRチーム 荒木 博邦 様

## 自然地の利用と保全

### それは里川の創造と希少種の棲める環境を再生すること

住民たちが自然を利用し管理しながら様々な生物種を戻していくという「里川」の創造を念頭に置き活動しています。また、絶滅が危惧されている種(ヒヌマイトンボ)を荒川に戻していこうという活動も展開しています。これらを通して、市民が荒川の自然を利用・保全する仕組み作りを考えていく予定です。

#### 絶滅危惧種復活プロジェクト ～モニタリングを開始しました～

ヒヌマイトンボとは、汽水域のヨシ原を好んで棲むイトンボです。1971年に茨城県酒沼で発見されてまもなく絶滅危惧 類(環境省)に指定されました。荒川でも現在の生息場所は数少ないと考えられています。

7月2日に今年最初の未成熟個体を発見しました。市民の手による発見としては非常に久しいものです。7月第1週から8月第2週にかけてはほぼ毎週調査を実施しています。

今後、学識経験者に本生息地の他、かつての生息地をご覧いただき、生息地内での保全活動の詳細およびかつての生息地にどのような手を加えていくか、ご助言をいただく予定です。 本プロジェクトは「三井物産環境基金」を得て実施しています。



#### 里川創造プロジェクト ～今年も、連続プログラムを実施します～

2011年度は、江戸川区の小松川自然地を対象に、学校、市民団体、企業等が、荒川クリーンエイドと併せて実施するプログラムを9月～11月に複数回実施することを計画しています。同自然地における生物多様性の素晴らしさに触れ、参加者に新たな発見を促します。

また、繁茂する外来植物と既存生態系とのかかわりなど、環境教育の場としても活用していく予定です。

### 『荒川エコキッズ育成』事業

### 多くの子どもたちに荒川での生物多様性の学びの機会を！

荒川クリーンエイド・フォーラムでは、『荒川エコキッズ育成』事業の一環として、流域団体や学校と協働しながら、より多くの子どもたちが荒川での遊びや探求活動を通じて生態系や環境保全について学べるよう努めてまいります。

- 1 『集まれ！荒川エコキッズ』イベントの開催（8回）  
流域団体との共同開催により、多様な自然環境での多様なプログラムを実現
- 2 総合的な学習の時間の支援（12回） 保全意識を育むプログラムをサポート
- 3 支援ツールの整備 学習を助けるガイドやシートをホームページに公開

多様な自然環境  
干潟・池・ワンド・草地など



多様な体験・学習  
遊び・生物・ゴミ・水質など



流域団体・学校  
との協働



写真  
(上) 小松川自然地  
(下) 北区・子どもの水辺

#### 『集まれ！荒川エコキッズ』イベント

	(会 場)
6/5(日) 荒川の水質しらべ	下平井水辺の楽校
7/10(日) 川の生き物しらべ	下平井水辺の楽校
7/31(日) なつやすみ水辺の楽校	葛西臨海公園
8/21(日) 生物調査と竹鉄砲作り	中土手五色池
9/11(日) 草原の虫さがし	下平井水辺の楽校
9/17(土) 水辺と原っぱの生き物さがし	北区・子どもの水辺
10/16(日) 荒川のゴミしらべ	下平井水辺の楽校
10/23(日) 川原っぱ生き物しらべ	小松川自然地

本プロジェクトは「2011年度JT青少年育成に関するNPO助成」を得て実施しています。

## 荒川クリーンエイドの現場から

毎号、はじめてクリーンエイドを開催された企業や団体の皆さまにご寄稿いただき、成果や感想などをご紹介します。今回は日本工営株式会社さんです。4月下旬の説明会から短期間で準備を進めていただきました。広々とした河川敷で社員さんたちの交流もできたようです。継続的な活動を期待しています。

## 継続的な清掃活動の必要性を実感

平成23年5月14日(土)、東京都北区の新荒川大橋下流左岸において、NPO荒川クリーンエイド・フォーラムの協力のもと、日本工営労働組合主催の河川敷のゴミ拾いを実施しました！(コンサルでは初参加となりました。)

当日は暖かな日射しの下、社員とその家族をあわせて41名(うち子ども14名)が参加しました。虫や花に目を奪われつつも、楽しそうにゴミを拾っている子どもの姿が印象的でした。

ゴミ拾いの成果は、燃やすごみ2袋、燃やさない袋2袋、ペットボトル1袋の計5袋と、物干し竿や安全バー等の粗大ゴミでした。清掃したゴミの分別が細かく大変でしたが、一つ一つのゴミを認識することで、ゴミの出所がどこだろうかと考える機会を与えてくれました。子どもたちにはちょっとしたお宝の分配のようで、遊びの要素もあるようです。

清掃活動の後は、近くの広場でバーベキューを行い、日ごろお付き合いのない社員同士やその家族とふれあい、大いに盛り上がりました。

清掃場所は、比較的きれいな場所でしたが、水際付近に

**NEW** 日本工営株式会社 塩見 真矢 さん

は発泡スチロール等の漂着ゴミが多く、放置していると溜まり続けるので、継続的な清掃活動が必要であることがわかりました。

来年は、今年のノウハウを生かし、計画的に準備を行い、自然観察会(荒川の生き物調査等)の環境学習もあわせて実施したいと考えております。



## 『身近な水環境の全国一斉調査』に参加

## 荒川下流域41地点で調査を実施

「身近な水環境の全国一斉調査」は、2004年より今年で第8回目、6月5日(日)を中心に全国の約5,000カ所で一斉に実施されました。当フォーラムは、「全国水環境マップ実行委員会」の一員として第1回より調査を推進するとともに、荒川下流域のデータを取りまとめています。

## 支流が合流する北区・足立区で高いCOD値

CODの値は、荒川本流よりも支流の方が高い値が出ています。本流では、菖蒲川や芝川などの支流が合流する新荒川大橋(北区)や扇大橋(足立区)周辺で比較的高くなり、千住新橋より下流では1カ所を除いてCOD値4と、比較的低い値となりました。(COD=化学的酸素要求量:水中の有機物の量を示す。値が高いほど汚染度合が高い。)

結果の詳細はホームページをご参照ください。(トップページ【最新情報】より)

## 身近な水環境の全国一斉調査 概要

実施日 2011年6月5日を中心に

地点数 計41

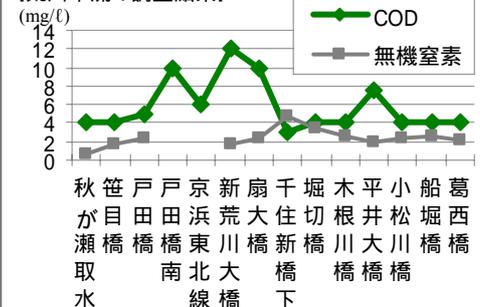
荒川本流 14 支流ほか 23

止水・水路 4

調査団体数 17

調査項目 COD、pH、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素、アンモニウム態窒素、透視度

【荒川本流の調査結果】



調査実施団体 秋が瀬にワンドを作る会、林・宮島ファミリーズ、埼玉県生態系保護協会戸田・蕨支部、荒川夢クラブ、大曽根の湿地ビオトープを守る会、川口市立西中学校科学部、いたばし野鳥クラブ、いたばし水辺を楽しむ会、北区水辺の会、尾久の原愛好会、あらかわエコフレンド、足立区荒川ビジターセンター、～えどがわ自然楽校～みずとみどりの寺子屋、江戸川・生活者ネットワーク、下平井水辺の楽校、中土手に自然を戻す市民の会、荒川クリーンエイド・フォーラム ～ご参加ありがとうございました！～

荒川クリーンエイド2011では、秋のクリーンエイド実施の際に、希望団体に水質調査に取り組んでいただくことを予定しています。これにより、流域市民の荒川の水質への関心を高めていくことを目指します。

## レポート

## 尾田栄章氏 記念講演

河川法改正から15年目、一緒に考えよう  
「河川管理に携わるNPOは何を目指すべきか」

4月より顧問に就任いただいた尾田栄章(元・建設省河川局長・現NPO法人渋谷川ルネッサンス代表理事)をお招きし、講演会を開催しました。

## 尾田さんからいただいた当会への期待

「住民参加による合意形成」新しい合意形成の方法を見つけ出してほしい。

「公物管理への住民参加」行政セクターだけでなく新しい在り方を探る。それをNPOが担うべき。

「流域に学ぼう」流域に知恵が一杯つまっている。それをNPOの力で掘り出して欲しい。

壮大な「社会実験」に取り組み、先陣を切ってほしい。

「関係住民」を代表する立場を担うべき。

「関係住民と河川管理者をつなぐ」

「河川流域を単位とする道州制」への移行(上下流の連携を支えるべき。)

これらを踏まえて、今後の河川管理者との対話に活かしていきたいと思います。



## 24時間テレビ『荒川クリーンエイドアクション』2011

## 雨の中のクリーンエイド

5月29日(日)、都営新宿線東大島駅近くの荒川河川敷で、「24時間テレビ」チャリティー委員会と共催でクリーンエイドを実施しました。あいにくの雨降りとなってしまいましたが、127人が参加し、雨にも負けず、合計(45リットル入りゴミ袋)109袋分のゴミを回収しました。ゴミ拾いの後の自然環境教室では、カニや魚、植物などに触れ合いながら荒川の自然に親しみました。

当日の様子は、日本テレビ「真相報道バンキシャ!」、読売新聞、他でも紹介されました。



## 学校教育の現場から

## クリーンエイドを水の学習につなげて

～荒川をきれいにしている人々の努力や考えを知る～

豊島区立南池袋小学校 江崎 淳一 教諭

今回の学習では、荒川でのゴミ拾い体験や自然観察、魚とりを通じて、自分達が飲んだり使ったりしている水の通り道、荒川の現状を調べています。また、荒川をきれいにしている人々の努力や考えを知るといことをねらいとして学習しました。

「くらしをささえる水」の学習では、1学期に学校の蛇口調べから、浄水場見学をした後、荒川の自然やゴミ問題など体験を通して学べたことで学習が深まりました。

2学期の荒川や青山土さんの学習や、荒川の水源林に行く(秩父移動教室)に生かしていきたいと考えています。



ゴミが生き物に与える影響を考えるワークショップの様子

## 荒川いきもの四方山話

～草原の住人たち～

今くらいから晩秋まで、草原は彼らに占領されています。歩くと、ピョンピョンと飛び出してくるバッタやキリギリスたち。彼らにはどんな違いがあるのでしょうか。

キリギリスとコオロギはキリギリス亜目、バッタはバッタ亜目ですが、実は、耳(鼓膜)の位置が違うのです。バッタ亜目は、羽をめくると後脚の付け根に、キリギリス亜目は前脚の付け根に耳があります。また、バッタ亜目は触角が短く、キリギリス亜目は触角が長いのも、見分けるポイントとなります。

それから、バッタの顔を正面から見てください。トノサマバッタ、イナゴは仮面ライダー1号にそっくり! ショウリョウバッタ・オンブバッタはねずみ男にそっくりです。

ケラ(オケラ)は、実はコオロギの仲間です。地面の底からジーンと地響きのように聞こえます。

(自然案内人 橋本 浩基)



